

日時: **2017年1月26日(木) 15:30~16:50**

場所: 大阪大学最先端イノベーションセンター棟3階 演習室3

オックスフォード大学の研究者による患者参加型の新しい研究手法に関するセミナーです。

講演1: The Waiting Room Project: Engaging the public in biobanking policy

**Teresa Finlay, PhD Research Associate, Centre for Health, Law and Emerging Technologies (HeLEX)
University of Oxford**

主旨: 病院の待合室で医学研究の基盤であるバイオバンクに関する情報をICT技術を用いて患者に紹介し、意見を収集することを目指す、新規プロジェクトについて紹介する。

講演2: Latest developments for the RUDY project and understanding pain in Fibrous Dysplasia

Kassim Javaid, MD, PhD Associate Professor of Metabolic Bone Disease, University of Oxford

主旨: 患者と医学研究者が継続的に繋がる「ダイナミック・コンセント」の実用化研究の一つとして、整形外科領域の難病患者と研究者をつなぐRUDYプロジェクトが2014年に始まった。本研究では、患者が自ら入力したデータの解析から、「痛み」に関する新しい知見など、これまでに得られなかった知見が得られて始めている。

(講演は英語で行います。どなたでも参加でき、参加登録は必要ありません。)

連絡先: 加藤和人 (社会医学講座・医の倫理と公共政策学分野)

電話: 06-6879-3688 Email: info@eth.med.osaka-u.ac.jp